

第29回株式会社FM島田番組審議会議事録

開会：株式会社FM島田番組審議会は平成25年6月11日午前10時30分より、プラザおおるり第2会議室にて開催。冒頭会社側から、平野なおみ副委員長の欠席が報告された。加藤太二審議会委員長より開会が宣言された。

議題1 審議番組について

FM島田で放送する番組「落語の時間ですよ」を審議した。FM島田よりコーナーの概要を説明した。委員から感想などが述べられた。三輪委員「FMは通常、音楽を流すのですが、音という領域で落語を放送するのも好感を持たれると思う。」平口委員「面白く笑える番組なので良いと思う。30分以上の落語なので、10分程度の短編のようにさらっと聴けるものと、リスナーも飽きが来ないと思う。」三河委員「私は面白かった。学生の頃に新宿末広亭に行った頃を思い出す。古典でなく現代風の作品で面白いし、後のトークも良かった。色々なジャンルの番組を放送するのは良いと思います。」加藤委員長「落語で1時間とのことでしたので大丈夫なのかと思いましたが、トークと公開録音の落語で、良かったと思います。トークでは、新作落語を追求しているところ等、人生の勉強にもなるところもありました。FM島田でも制作するうえでヒントになるところもあるのではないのでしょうか。」などの意見が出された。続いて、加藤委員長から平野副委員長の審議番組の感想メモが紹介された。

その他

三輪委員「先日新しい市長のインタビューのコーナーがありましたが、どのような内容をお話されたか。また、4月に大雨が降りましたが、災害通信員の活躍はどうだったかを教えてください。」と質問が出た。FM島田中根が、市長の感想として「話していて理論的、頭の回転が良いとの印象を受けた」と述べ、大雨については「自宅待機の状態です。雨の様子を観察していた。当日、雨もやんでいく方向でしたので緊急放送に至らなかった。通信員の方も今後、活躍する事があろうかと思っています。」と説明した。加藤委員長から「リスナーが、この時間にこの番組をやっているという浸透、についてはいかがか。」との問いがあった。FM島田は、「ワイド番組を中心、柱として、このコーナーは何時何分にやるといった浸透、定着のため、時間等ほとんど変えていない。」と答えた。平口委員「私は畑で農作業中に聴いていることが多い。天気や交通などの情報はなるべく多く入れてほしいと思います。」と要望した。内藤社長が全体の補足として「島田市の広報誌、ラジオなど、アンケート調査をするよう市に働きかけをしていきたいと思っている。現状ですと、番組などの制作、編成の参考にするものが少ないです。」と話した。三輪委員「冊子、いぶきは、どれくらいの費用がかかり、利益が出ているのですか。」と質問した。FM島田側から、経費をはじめ取材や配布の仕方を説明した。」などの質疑応答が行われた。

次回、第30回番組審議会は、平成25年8月22日に開催する予定。

以上、第29回株式会社FM島田番組審議会は午前11時25分に閉会した。上記の議事の結果を証するため、ここに議事録を作成し委員長が記名押印する。

以上

平成25年6月11日

番組審議会委員長 加藤 太二